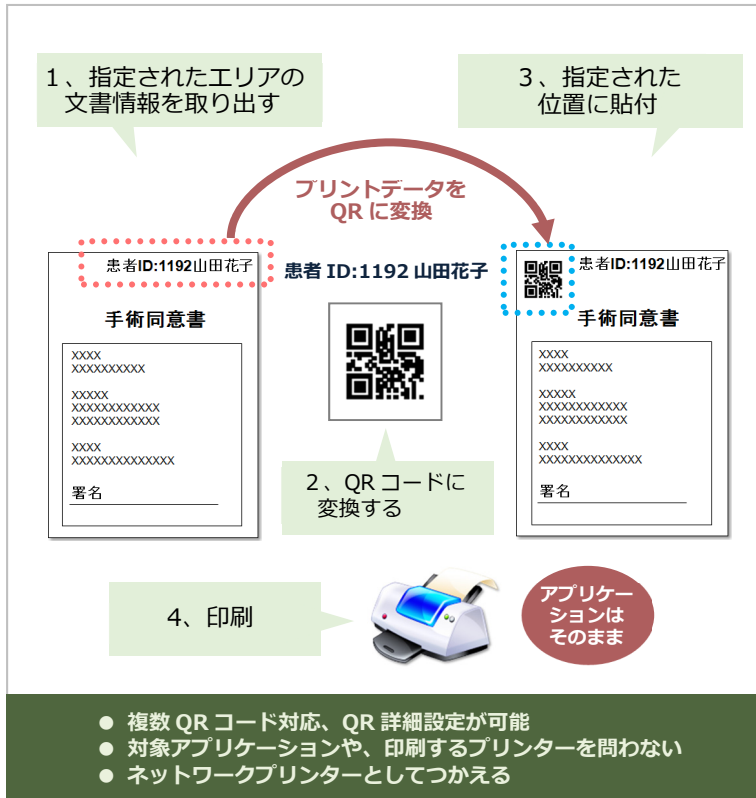


HGQR オートプリンタ

アプリケーション開発やカスタマイズ不要で QR コードを付与



TECHNICAL DATA 2017/08

デジタル複合機の普及により、紙文書の電子化は容易になりました。しかし、スキャンして作成した電子ファイルにファイル名を付与する、あるいは決められた保管場所（フォルダ）に、正しく格納するのは自動化できませんでした。

これらの問題を一気に解決する手段として、近年注目されているのが紙文書に QR コードを付与し、認識させる方法です。医療、製造、流通、不動産など、あらゆる業界、業態で紙文書電子化に伴う自動スキャン・仕分けで、QR コードの活用が急速に進んでいます。

【なぜ QR コードでしょう？】

1. 漢字も使用でき、1000 文字以上使えるので、マスターコードだけでなく日本語の製品名や顧客名、文書名などもいれられる
2. 誤り訂正機能があるので、QR と認識できれば必ず正しいデータが取り込める（目視で誤認識をチェックする工程が不要）
3. QR コードは正方形で、小さくできるので、既存帳票のレイアウトを変えず空きスペース等に印字できる

QR コードを業務に導入するための最大の課題は、QR をいかに簡単に付与するか？ということです。

『HGQR オートプリンタ』は、新たなアプリケーション開発やカスタマイズが不要で QR コード作成の問題を解決できるプリンタドライバ型によるソリューションです。

紙文書電子化の課題とは

近年、企業内の文書電子化が急速に進みつつあり、今や文書はワードやエクセルなどで電子的に作成され、メールなどで流通し少なくとも社内では紙に出力しなくなってきました。しかし、社外とのやりとり、また見積書、申込書など捺印、サインなどが証憑として必要なもの、コメント添付の議事録など手書き情報があるものは依然として紙です。オフィススペースの縮小、エコロジーの見地からこれらの紙も電子化し紙の保存を減らすことが重要になってきています。紙の電子化は、オフィスにあるデジタル複合機で簡単に行えますが、課題はどう登録し、活用するかです。

紙文書を大量にスキャンする際に、最初にぶつかる問題はリネームです。複合機やドキュメントスキャナでスキャンした場合、連番あるいは日付のファイル名しかつきません。ファイル名が正しくなければ、そのファイルの内容は、ファイルを開かないと解りません。しかし、ファイル名を正しく設定し、共有サーバなどの所定のフォルダに保存するなどの作業は、処理量が多い場合は大変です。このため、自動的にリネームする方法として、エリア OCR や次元バーコードが利用されてきましたが、最大の問題は「誤認識がある」ことです。OCR や次元バーコードを利用して、いかに処理を自動化しても、誤認識の可能性がある以上、すべて目視でチェックしなければなりません。真の自動化にはなりません。

QR コード利用のメリットと課題

最近注目されているのが、文書に QR を付与する文書 QR といわれる方法で、電子文書の登録自動化、ワークフロー化に QR コードの利用が主流になりつつあります。

紙文書の電子化に QR コードを利用する最大のメリットは「誤認識が無い」ことです。QR コードとして認識できたら、取得データに間違いはありません。そのほかにも、QR コードを文書処理に活用するメリットは多数あります（詳細は右上の TECHNICAL DATA を参照してください。）

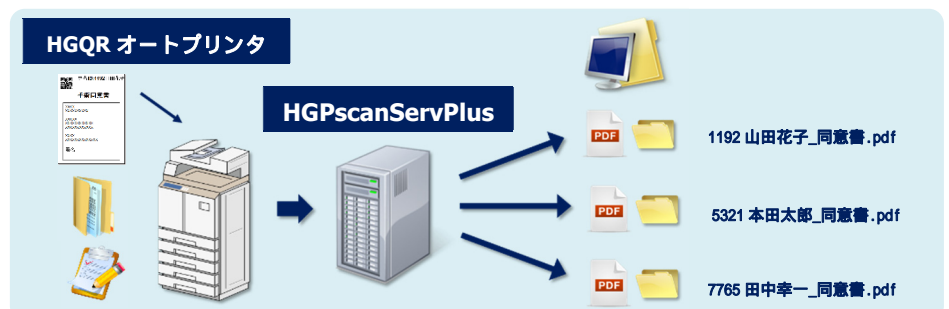
しかし、課題もあります。対象原稿に QR コードを付与する方法の選択肢が少ないことです。特に、文書名や記入者など個々の文書毎に異なる QR コードを、動的に付与する方法は、特別な開発やカスタマイズをする以外にほとんどありませんでした。さらに、ほとんどの場合、運用するシステム側の変更も必要になります。

HGQR オートプリンタにより解決

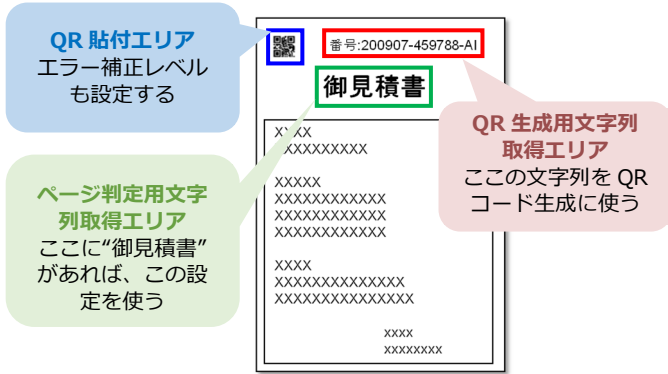
これらの問題点を一挙に解決するのがプリンタドライバ型の QR コード生成ツールとして、弊社が開発した『HG QR オートプリンタ』です。ワードやエクセルからの印刷時に、この QR オートプリンタを指定するだけで、指定された領域の文字データを取り出して QR コードに変換し、指定された領域に自動的に貼り付け、それをあらかじめ設定されたプリンタに印刷します。

つまり、Windows プリンタドライバに文字コードとして送信するアプリケーションなら、Office アプリケーションでも、給与計算や勤怠管理、電子カルテシステムのようなカスタマイズ機能がないシステムでも利用できます。（特許出願中）

*但し一部の Windows アプリケーションでは印刷上は文字に見えても、イメージやベクトルなど文字コードではない画像データで出力するものがありますので注意が必要です。



HGQR オートプリンタの仕組み



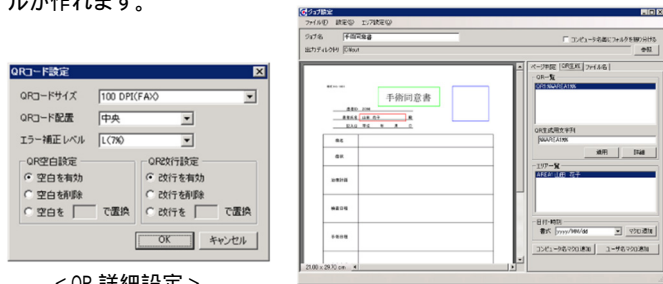
・ 3つのエリアを指定し、ジョブとして登録

HGQR オートプリンタの主な特徴

- 1) プリンタドライバなので、アプリケーション開発不要
 - ・ 大幅なコストダウン
 - ・ 業務アプリはもちろん、Word、Excel でも OK
- 2) マウスによる設定だけなので、カスタマイズが簡単
 - ・ 設定は専用ツールでおこなう
 - ・ 設定ページはテンプレートとして保存
- 3) 複数 QR コード対応 (10個までつけられる)
- 4) QR コードを付与した文書を自動印刷
 - ・ シームレスに QR コード付き文書を印刷可能
 - ・ 実際に印刷するプリンタを問わない
- 5) ネットワークプリンタとして使える (ネットワーク版のみ)
 - ・ 複数ユーザが追加コストなく、簡単に QR 機能利用可

医療での使用例 (医療、手術同意書の例)

実際の医療の例では、あらかじめ「ページ判定用文字列エリア」「QR 生成用文字列エリア」「QR 貼付エリア」からなるジョブを設定し、QR コードサイズなどを指定し、プリンタドライバで印刷を実行すれば、患者 ID が QR コードで個別に付与されて同意書が印刷できます。あとはこれに手書きで記入してスキャンするだけでファイル名が患者 ID のファイルが作れます。



・ Windows, Windows XP, Windows Vista は、米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における商標です。
 ・ QR コードは (株)デンソーウェーブの登録商標です。その他の記載の社名、または商品名等は、それぞれ各社の商標、登録商標です。

動作環境

OS : Microsoft® Windows® 7 (32bit/64bit・日本語版)
 Microsoft® Windows® 8.1 (32bit/64bit・日本語版)
 Microsoft® Windows® 10 (32bit/64bit・日本語版)
 Microsoft Windows Server® 2008 R2 (64bit・日本語版)
 Microsoft Windows Server® 2012 R2 (64bit・日本語版)
 CPU : Intel x86 / x64 互換 CPU 2GHz 以上
 RAM : 512MB 以上 (1GB 以上推奨)
 OS のシステム要件を満たしたメモリを搭載する必要があります
 ディスク空き容量 : 300MB 以上
 日本語.NET Framework 2.0 以上
 アプリケーション : Microsoft Word 2007,2010,2013,2016
 Microsoft Excel 2007,2010,2013,2016

作成したテンプレートは自社内でのみ利用可能です。
 同時利用可能なテンプレートは 30 まで (ネットワーク版は 100 まで)
 MS-Office 文書などのアプリケーションファイルの印刷処理は、プリンタドライバ等を経由するため、そのアプリケーション固有の外観が完全には再現されない場合があります。

機能一覧

型番	HG2642-WT	HG2643-WT	HG2644-WT	HG2645-WT
ライセンス形態	Office シングル ルユーザ版	Pro シングル ユーザ版	Office ネットワーク版	Pro ネットワーク版
テンプレート作成	○	○	○	○
テンプレート編集	○	○	○	○
テンプレートインポート(*.zip)	○	○	○	○
テンプレート読み込み(*.tpl)	○	○	○	○
テンプレートエクスポート(*.zip)	○	○	○	○
テンプレート保存(*.tpl)	○	○	○	○
ネットワークプリンタ	×	×	○	○
PC 毎フォルダ振り分け機能	×	×	○	○
PC 毎 JOB 制限	×	×	○	○
対象ファイル	(xls/xlsx/xlsm/xltx/docx/docm のみ)	(制限無し)	(xls/xlsx/xlsm/xltx/docx/docm のみ)	(制限無し)
複数 QR 対応	○	○	○	○

※アプリケーションから印刷した場合、ジョブ判定用文字列、QR 生成用の文字列がテキストとして読み取れることが必要であるため、事前の検証が必要な場合があります。
 ※ネットワーク版はネットワークプリンタとして複数ユーザで共有できます。
 ※Office 版は対象アプリケーションを Microsoft Word/Excel だけに限定した廉価版です。
 ※Office 版で対応している Word/Excel のバージョンは 2007/2010/2013/2016 です。
 ※ネットワークプリンタを Windows クライアント系 OS に導入した場合、OS のソフトウェアライセンス条項に記述された制限が存在します。
 ・ Windows Server2008 R2、2008 の場合：クライアントライセンス購入数による (Windows 2008 Foundation の場合は、15 台まで)
 ・ Windows 7 Ultimate、Professional の場合：クライアント同時接続数 最大 20 台まで
 ・ その他については、各 OS の使用許諾契約書をご覧ください。
 ※カード認証など、認証機能のあるプリンタには出力できません。

価格

HGQR オートプリンタ

Office シングルユーザ版 税別 68,000 円 (HG2642-WT)
 (対応アプリは Excel/Word のみ)
 Pro シングルユーザ版 税別 148,000 円 (HG2643-WT)
 Office ネットワーク版 (50 ユーザまで) 税別 198,000 円 (HG2644-WT)
 Pro ネットワーク版 (50 ユーザまで) 税別 450,000 円 (HG2645-WT)

ネットワーク版追加ライセンス

ネットワーク追加ライセンス 50 ユーザ 税別 200,000 円 (HG2646-WL50)

・ 詳細は、営業までお問い合わせください。

開発・販売元

株式会社 ハイパーギア

〒162-0846
 東京都新宿区市谷左内町 21 番地 市谷山上ビル 3F
 TEL 03-5225-7531
 FAX 03-5225-6512

記載事項は予告なく変更になる場合があります。ご発注の際はご確認ください。

お問い合わせは当社へ